

社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(社)香川県作業療法士会広報部
事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1
四国医療専門学校 作業療学科内
(社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

挨拶

会長 植野 英一

このたびの東日本大震災により被災されました皆さまにこころよりお見舞い申し上げます。

また、被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、6月は、記録的な暑さでしたが皆さまはお変わりありませんでしょうか。健康第一でご活躍されることをこころよりお祈り申し上げます。

去る5月23日に香川県作業療法士会の総会が四国医療専門学校で行われ、前任期に引き続き会長に就任いたしました。香川県作業療法士会の発展に尽力して参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

具体的には、今年度中に一般社団法人への移行手続きを進め、来年の4月には一般社団法人香川県作業療法士会として事業展開できることを考えております。総会においても質問があり、回答させていただきましたが、平成25年12月までに一般社団法人か公益社団法人に移行(法人格の取得)していかなければなりません。移行しない場合は解散となり、社会的信頼のない組織になってしまいます。法人のメリットは、字の如く、法律が認めた「人」であり、人としての権利(特に契約行為)を得ることができます。従って社会的信頼性の高い組織になります。ただ、これにも条件があります。それは、組織率です。何もこのことは香川県作業療法士会だけでなく、日本作業療法士協会をはじめ、その他の団体(法人)においても同様です。いくら法人格を取得しても組織率が極端な例ですが有資格者の2~3割では話になりません。最低でも5割を超えなければ信頼性が高いとは言いきれません。本会においては、平成20年に91%あった組織率が現在は80%台(今年の5月1日現在における日本作業療法士協会の組織率は72.6%)に減少しており、比較的高い組織率ではありますが減少が加速していくのではないかと危惧しております。この原因は意識のずれが問題であると考えます。未入会の方々は知識や技術の習得など個人の利益を優先して求めています。一方、香川県作業療法士会は作業療法の普及発展と香川県民の保健・医療・福祉の充実及び向上に寄与することも目的としており、香川県の作業療法全体の利益を求めています。確かに組織としては「会員の学術・技能の向上に努め」と定款にもあるように、その役割を今まで以上に事業展開していかなければならないと認識しており、次年度にはそれに対する新たな事業を展開していきたいと考えております。

改善していかなければならない点はまだまだ残されています。それを今後少しずつではありますが解決していく次第です。そのためには会員の皆さまおひとりおひとりの力が必要になります。

何卒、今一度、香川県作業療法士会の存在意義を考えていただき、今まで以上にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

社団法人 香川県作業療法士会 役員紹介

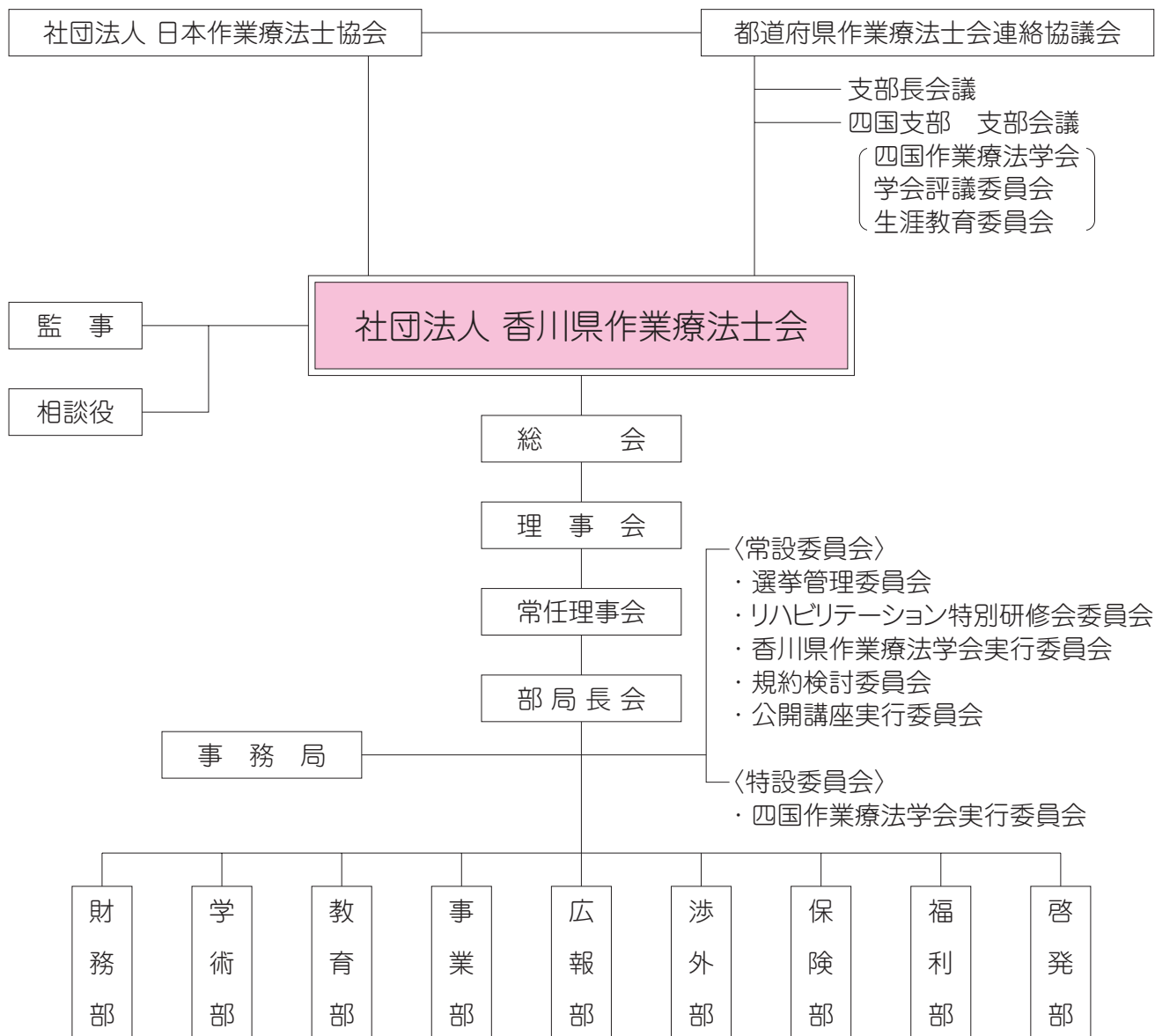
会長	植野 英一		このたび、前任期に引き続き、会長職を務めさせていただきます植野でございます。益々の香川県作業療法士会の発展を目指して頑張ってお参りますので宜しくお願い申し上げます。
副会長	松本 勉		引き続き副会長に就任しました松本勉です。県士会の役割は会員が作業療法士として成長していけるような有益な事業を行うことです。また、作業療法の職域の拡大や作業療法士を志す人が増えるよう作業療法の良さを啓発していくことも重要となってきています。このような県士会としての役割を的確に展開していけるよう植野会長をサポートしていくのが、長年県士会に関わってきた私の役目だと考えています。今後ともよろしくお願いたします。
副会長	前田 悠志		任期中の動きとしてはまず、一般社団法人への移行と県士会の組織強化の大きな課題について会長をサポートしていきます。行政や他団体との連携強化にも努め、作業療法士の必要性をPRしていきたいと思ひます。また何より会員からの要望・問い合わせに迅速に対応できるよう努め「身近な県士会」を目指します。どの事業も会員各位のご理解、ご協力があるからこそ成り立つものと信じています。今後ともよろしくお願いたします。
理事	富田 英臣		地域で暮らす高齢者、障がい者の方々はますます増えています。そのような高齢者の中には、徐々に役割を喪失し、閉じこもっていく方も少なくないと思ひます。そのような方々が地域でいきいきと暮らせるようになるために、作業療法士会の活躍を期待しています。 その手助けが少しでもできるよう、私も頑張りますので今後ともよろしくお願いたします。
理事	松本 嘉次郎		四国医療専門学校の松本です。この度2期目の理事をさせていただきます。1期目は業務に慣れるだけで精一杯でしたが、今期は少しでもスムーズに事務局の活動ができるように頑張っていきたいと思ひます。今年3月に起こった大震災及び福島県原発問題等で医療のみならず日本全体で様々な問題を引き起こしている状態です。このような時にこそ活躍の場を増やすような活動を行っていければと考えております。
理事	鍋坂 信夫		引き続き理事をさせていただきます香川県理学療法士会の鍋坂です。理学療法とともに作業療法の活動の場は医療から福祉や保健分野へと広がりが必要が増してきております。皆さま方への県民の期待はますます大きくなってきております。理事として皆さま方が活躍できる環境整備に努力していきたいと思ひます。宜しくお願いいたします。
理事	乗松 尋道		今期も引き続き理事に推薦頂き有り難うございました。 作業療法士の皆様の職域が広がりつつある現在、教育機関の果たす役割がますます重要になってきていることを常に考えながら職責を果たしたいと考えています。会員の皆様が直接関連している学生の病院実習に付きご意見がありましたら遠慮無くお話し頂きたいと存じます。今期も宜しくお願い致します。
理事	眞鍋 卓照		このたび香川県作業療法士会の理事を引き続き仰せつかりました眞鍋でございます。 微力ではございますが、香川県作業療法士会の発展のために、これまで培った経験を少しでも生かすことが出来るようにお手伝いをさせて頂きたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。
監事	内田 史規		引き続き、監事として香川県士会で活動をさせていただきます。 法人の改革が行われていく中で、活動内容の変化や事業の見直しもあるかと考えます。 県士会の事業や財政のチェックを、会の発展を見据えた視点から行っていきたいと思ひます。
監事	五味 陽子		この度監事として再度任務に就くことになりました。法人として、地域の皆様方に必要とされる作業療法士としての質の向上等、香川県作業療法士会の運営方針や会計の監査を通じて理事の方々と共に考え任務を果たしたいと思ひます。よろしくお願致します。

【事務所の所在地】 〒769-0205 綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1

【設立者の名称】 社団法人 香川県作業療法士会

【代表者の名前】 会長 植野 英一

社団法人 香川県作業療法士会 組織図



事務局長：松本嘉次郎(四国医療専門学校)

財務部長：谷渕加奈子(穴吹リハビリテーションカレッジ)

学術部長：池知 良昭(香川県立中央病院)

教育部長：小松 博彦(いわき病院)

事業部長：石井 誠二(回生病院)

広報部長：木村 勇介(麻田総合病院)

渉外部長：香川 久圭(三豊市立西香川病院)

保険部長：田埜 篤司(松井病院)

福利部長：戸田 洋子(高松協同病院)

啓発部長：澤田 仁美(大杉脳神経外科医院)

〈常設委員会〉

リハビリテーション特別研修会委員会：長田 功子(介護老人保健施設 フローラ)

近藤 和美(高松市民病院)

岩野友紀子(かがわ総合リハビリテーションセンター)

瀬間 義之(介護老人保健施設 桃源苑)

サンサン祭りレポート

日時：平成23年5月1日(日)
場所：サンポート高松

第31回サンサン祭りに参加して

赤沢病院 川崎 久美

5月1日(日)にサンポート高松で開催されたサンサン祭りには、多くの方々が訪れ賑わっていました。野外では舞台が設けられ、車椅子でのパフォーマンスや、スポーツ、屋台など、年齢・性別・障害の有無に関係なく、たくさんの笑顔が見られました。

サンサン祭りは、1981年より開催されており、今年は、昨年開催された瀬戸内国際芸術祭にちなんで、切り絵や書道などの芸術作品を約60点展示した「チャレンジド・アート展」が新設されていました。

作業療法士会は、福祉用具・福祉機器の展示や体験(革細工・バルーン)などのコーナーを設け、アンケートには約90名の方々の意見をいただくことができました。アンケート回答者の多くは例年よりも10代から30代と若い方が多かったようで、「リハビリテーションという言葉を知っていますか?」との質問には「知っている」が75名、そのうち「作業療法という言葉を知っていますか?」との質問にはPTと同数の57名が「知っている」と回答いただきました。

私は、体験コーナーで革細工を担当し、そこでたくさんの方々の声を聞くことができました。一番多かったのは、作業をしながら「楽しいね」と話す声です。アンケートでも多くの方々が作業療法に関心を示してくれ、幼い子供たちも「楽しみ」から興味をもっていただけたように感じます。また、家族や友達、他人同士でも教えあったり、アイデアを出し合ったりと、人と人との繋がりを見ることができました。

初めて参加しましたが、沢山の笑顔を見ることで改めて作業療法の魅力を感じるようになりました。アンケートでも「実際にどんなりハビリを行っているのか見てみたいし体験してみたい」や「自分は健常者だが、見るものほとんどが初めてで一つ一つに意味をもっている」などの意見があり、以前から知っていた方も知らなかった方も、興味をもって参加していただけたように思います。

今後も「楽しみ」を通じて“作業療法”また“作業療法士”を多くの方に知っていただけるよう啓発していきたいと思います。最後に、連休中にも関わらずイベントに協力いただいた部員の先生方お疲れ様でした。



第22回四国作業療法学会

日 時：平成23年5月28・29日

会 場：松山市総合コミュニティーセンター

おさか脳神経外科病院 作業療法士 広瀬 恵理

今回、四国作業療法学会では初めて演題発表をさせていただきました。当日は、台風も近づいており、生憎の天気でしたが、参加者は多い印象を受けました。各演題発表では、皆様の日頃の治療に対する探求心や取り組み等知ることができ、同じようなケースでは「こんな治療方法もあるのか!」と勉強になることが多かったです。また、私は身障分野(中枢)で働いているため、精神科や小児、整形等関わりの少ない分野では、どのような治療や取り組みを行っているのか興味がありました。今回、他分野の方々の発表も聞くことができ、新鮮で新しい知識を得ることができ、有意義に過ごすことができました。皆様の日頃の努力を知り、今後も日々精進していこうと思いました。



西山脳神経外科病院デイケアセンター 高木 章宏

5月28日29日に愛媛県で開催された四国作業療法学会に参加してきました。台風の上陸により、大雨の中での開催となりましたが、大勢の方が参加されていました。自分自身初めての学会発表の機会であり、緊張の連続でしたが皆さん熱心に聞いてくれ、盛んな質疑応答や助言を頂く事ができました。今後更なる自己研鑽を積み、より良い成果を対象者の方や学会の場で提供していければと思います。

また、様々な考え方をする人と出会い、改めて作業療法という世界の広さ、奥深さを体感しました。学会を通じて今後の臨床に繋がる多くのヒントを得られたように思います。今回得た知識、経験を今後の臨床場面で活用していきます。

平成23年度

(社)香川県作業療法士会 会費納入についてのお願い

(社)香川県作業療法士会の各事業や活動は、作業療法の啓発や会員の学術・技能向上などを目的に実施されるもので、主に会員の年会費によってまかなわれております。つきましては、各事業・活動が滞りなく実施できますよう、納付がまだの会員は、直接銀行振り込みのご協力をお願いいたします。

なお、コンビニ振込用紙は使用期限が過ぎておりますので、使用・再発行できません。ご注意ください。

納入金額 8,000円(平成23年度会費)

納入方法 百十四銀行への振込み

百十四銀行 県庁支店

口座番号：普通 0993345

加入者名：社団法人 香川県作業療法士会 会長 植野 英一

※ATMからの振込みの場合は氏名及び施設名を必ず入力してください。

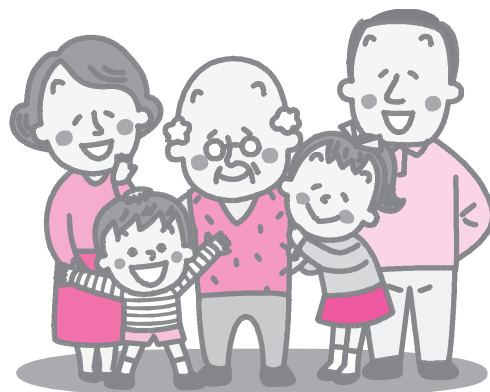
※通帳記載文字数は濁点も数えて12文字までですので、必ず「氏名」→「施設名」での記入をお願いします。空欄不要です。

例)介護老人保健施設さぬき 香川太郎の場合 → カガワタロウサヌキ(10文字)

※百十四銀行のキャッシュカードで百十四銀行のATMを使用した場合の振込みに限り手数料無料です。

その他 領収書は原則として県士会からは発行されませんので、ATMから発行される領収書をご利用ください。

問合せ先 財務部長 谷渕加奈子
穴吹リハビリテーションカレッジ
TEL：087-815-3300
Mail：kanako-tanibuchi@anabuki.ac.jp



～リレーエッセイ 24～

西山脳神経外科病院 南 千佳

「作業療法とは一言で何か?」と先輩方より質問を受ける度、「ADL」「在宅」と答える私は…教科書そのもの。面白みが無く、個性もない。

デイケア・病棟・外来と経験を重ねるごとに考えが変わってきました。デイケアでは「できるADL」を引き出し、デイケアでの生活に取り入れていくことに力を入れてきました。しかし自宅の環境設定や家族指導など在宅への関わりが十分行えず、「しているADL」へと結びつけることの難しさを感じていました。現在、病棟では「在宅」に力を入れ、早期に在宅へ出向いて環境設定や家族指導を行い、退院直後だけでなく、その先の生活を見据えて介入していくことを学んでいます。

現在3年が経過した私は「作業療法とは一言で何か?」との質問に「その人らしい作業を自律すること」と答えます。ひとりだちが出来る『自立』、援助を求め資源を有効に使い『自律』出来る事、一人ひとりに応じた作業療法を展開していけるOTを目指し、今後も出来ることからがんばっていきます。まだまだ未熟者の卵ですが諸先輩方、今後ともご指導の程宜しく願います。



広告掲載についてのご説明

● 広告のサイズと料金(1掲載につき)

1 ページ	たて24cm×よこ16cm	40,000円
1/2 ページ	たて12cm×よこ16cm	20,000円
1/4 ページ	たて12cm×よこ8cm	10,000円

(社)香川県作業療法士会賛助会員はそれぞれ半額となります。

● 広告の原版について

鮮明なものに限ります。写真・マークなども掲載できます。

いただいた原版はそのまま印刷されますので、サイズに収まるよう作成し、期日までにお送りください。(原版1部、コピー1部)

*ただし印刷の都合上若干、形などが変わることがあります。

掲載希望の方は、麻田総合病院 作業療法士 木村勇介までご連絡ください。

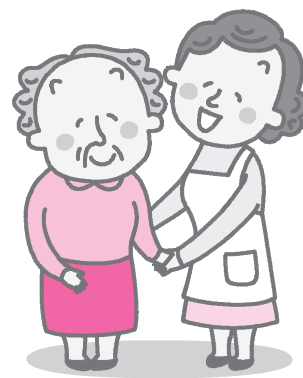
TEL: 0877-23-5555 FAX: 0877-23-6200

緩和ケア研修会

日時：平成23年6月19日(日)
会場：穴吹リハビリテーションカレッジ

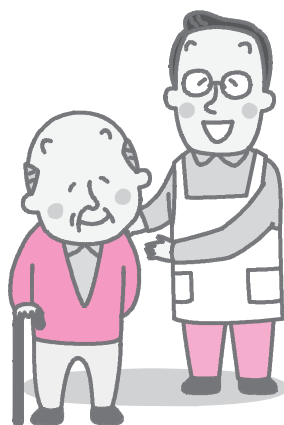
ふたご山クリニック 小山佳子

「寝たきりの人にリハビリをして何になるの?」「歩ける訳でもないのに…」と、云われたことがあります。訪問リハに携わって10年以上ですが、今でもこの言葉が頭をよぎることがあります。今回の「緩和ケア」という研修会のテーマを聞き、何か心惹かれるものがあり参加しました。『緩和ケアとは、がん患者さんの体や心のつらさを和らげ、生活やその人らしさを大切にする考え方』・『“がん”の人への支援とがんの“人”への支援』という話は、がん患者のみならず、全ての患者に通じると思いました。寝たきりであっても、“苦痛無く1日が過ごせる”など在宅での生活をよりよく過ごせるようにお手伝いできれば…と改めて思った研修会でした。



医療社団法人 田村クリニック 大矢浩司

この度、学術研修会に参加させていただき、作業療法士としてがん患者様にかかわることの大切さを再認識できました。島崎先生の「がん患者様に対する作業療法士の役割は『身体機能や認知機能などの維持・改善』『動作能力の改善や開発』『生きることの支援』であり、他疾患の患者様に対する作業療法士の役割と何ら変わらない。ADL支援では『省エネ活動』『リスクの少ない動作』『長い期間できる動作』がポイントで、ADL支援をQOLの向上につなげることが大切である」というご厚誼を拝聴させていただき、大変勉強になりました。今回、学ばせていただいたことを、実際の臨床に生かしていきたいと思えます。



部局案内

学術部からのお知らせ

平成23年度の学術誌は昨年度の内容に加え、より充実したものにし、県士会員の皆様に提供していきたいと考えております。

つきましては、

- ① 平成23年度に士会主催の研修会等で事例発表をされる方
- ② 四国学会・全国学会等、他で発表する予定のない、オリジナルの原稿を出していただける方
- ③ 平成24年1月に開催される県学会で演題発表される方

以上、①～③に該当する方に、掲載していただける原稿を募集しております。①・②に関しましては今年度の学術誌に、③に関しましては来年度の学術誌に掲載させていただこうと考えております。

また、昨年度と同様に、レクリエーション・アクティビティ・自助具・スプリントなどのアイデアカードの募集も行っております。詳しくは県士会HP、もしくは下記連絡先までお問い合わせください。ご協力よろしくお願いたします。

連絡先 三豊総合病院 リハビリテーション科 作業療法士 渡辺和美

TEL：0875-52-3366

Eメール：mitoyo-tiikiriha@mitoyo-hosp.jp

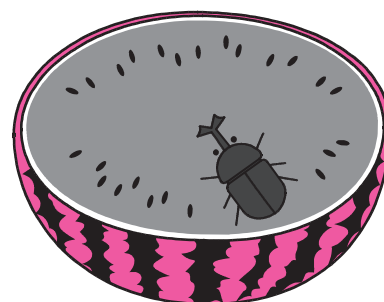
啓発部から県士会員の皆様へ

今年も「作業療法に関する説明会」を8月7日(日)ユープラザうたづで開催します。

将来、作業療法士を目指したい、作業療法士に興味があるという方を対象に、作業療法の魅力を知ってもらい進学に役立ててもらおう目的で毎年行っています。

多くの方に参加いただけるよう事業に向けて啓発部員一同、努力していますので、職場や地域の方へのご案内をよろしくお願いたします。また、お手数ですが同封したA3サイズの案内用紙を所属施設に掲示いただけますよう併せてよろしくお願いたします。

啓発部長 澤田



香川県作業療法士会常任理事会抄録

(社)香川県作業療法士会 常任理事会 〈第1回〉

日 時：平成23年4月11日(月)19:00~20:50

場 所：四国医療専門学校

出席者：植野英一、松本 勉、前田悠志、松本嘉次郎

【検討議題】

- 平成23年度 理事会・通常総会に関する件
 - 5月12日(木)18:30理事会 19:30総会
 - 外部理事には今週に理事会の案内を郵送。
 - 立候補は現在のところなし。
 - 現在、部の報告・来年度の予定が集まっていない部があり、また財務の決算・予算が終了していない。
 - 議案書は4月18日の週には会員へ送付予定。
 - 予算案のマイナスは予備費にて補充。
- その他
 - 会員カードの取り扱いはどうするか。個人あてに送付が望ましいが、個別の封筒に会員カードを入れ施設に送る。送付する際には、退会・異動・氏名変更等また研修会参加時は会員カードの提示を求める場合がある旨の記載。また、紛失時の連絡先を記載しておく。
 - 在宅看護ステーションは祝電を送り、欠席で返事をしている。

(社)香川県作業療法士会 常任理事会 〈第2回〉

日 時：平成23年5月21日(土)18:30~20:30

場 所：四国医療専門学校

出席者：植野英一、松本 勉、前田悠志、松本嘉次郎

【検討議題】

- 通常総会に関する件
 - 準備などについて
 - 委任状：欠席226 出席：31名(5月21日現在)
 - 理事会の進行マニュアル
 - 18時30より開始。
 - ※30分遅れることを連絡する。(乗松先生、鍋坂先生)
 - 理事会の弁当等の準備について
 - ※弁当をやめて2000円程度の菓子折り(手土産)
 - 通常総会の進行マニュアル
 - 県学会は今後、事業計画に記載していく。審議でなく、報告のため。
 - 議長：1名 山川先生(四国医療)
 - 書記：2名 田中先生(いわき病院)、徳永先生(穴吹リハ)
 - 議事録署名人：2名 西井先生(四国医療)、菰田先生(赤沢病院)
- その他
 - 義捐金について
 - 5月までに一度、OT協会の支援金の口座に支援金を送る。
 - その後は各事業で行い、日赤などへ義捐金として送付していく。

(社)香川県作業療法士会 常任理事会 〈第3回〉

日 時：平成23年6月13日(月)19:00~21:10

場 所：四国医療専門学校

出席者：植野英一、松本 勉、前田悠志、松本嘉次郎

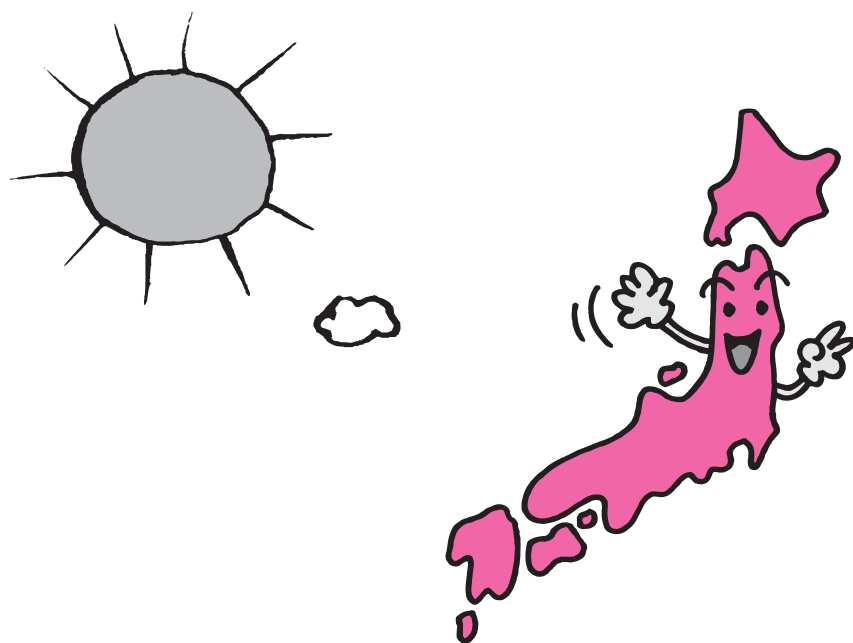
【検討議題】

- 四国支部に関する件
 - リーダー研修会の候補者について
 - 開催日：12月10日、11日
 - 会 場：10日は四国医療専門学校。11日でユーブラザウたづを予定。
 - 候補者：植野・松本実行委員。3役の副会長2名を含め15名選出。部長及び副部长から選出。
 - 各部長・委員長10名、副部局長：山川、福家、瀬間、(中川)、(森本)、(二見)に参加をお願いしていく。
 - 四国学会座長・査読委員の候補者選出について
 - 座長：33名を選出。
 - 査読：22名を選出。(今後打診していく。)
 - 次年度より支部長と事務局が香川県士会担当となるのでその対応策
 - 今後検討していく。
- 県士会に関する件
 - 地域リーダー研修会の選出
 - 現在、西香川病院の香川先生に内諾
 - 交通費及び宿泊費は県士会持ち(ただし、飛行機及び宿泊費のみ)
 - 法務局及び医務国保課への報告について
 - 法務局に申請中。終了後医務国保課に郵送にて提出。
 - 組織編成と各理事及び部局長の選出について
 - 理事を12名。外部4名、内部8名にしていきたいと希望している。
 - 8月までに組織編成及び理事・部局長の大まかな概要を決めていく。
 - 医務国保課への挨拶について
 - 一般社団法人化への質問等を含め挨拶に行く。
 - 8月の予定でいく予定。
 - 各部からの問い合わせ
 - 県学会実行委員会報告
 - 日時：平成24年1月15日(日) 場所：四国医療専門学校
 - 講師：谷OTR(大阪)を予定。
 - その他
 - 23日13:30~ 都道府県連絡協議会総会が開催。その際の交通費及び宿泊費を県士会負担。
 - 7月30、31日「第9回協会・士会合同役職者研修会」植野先生出席
 - 毎日新聞の広告の件。今回は了承する。
 - 公開講座報告：12月4日(日)開催。池谷先生。脳科学とリハビリテーション(キャンセルされた)
 - 観音寺第一高等学校(定時制)の岡田先生に講師依頼を予定。

日本作業療法士協会支援金について

2011年(平成23年)3月11日(金)に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した津波、及びその後の余震により引き起こされた大規模地震災害である東日本大震災での日本作業療法士協会支援金ですが、昨年度末から今年度の新人周知会及び総会までに集まった金額が28620円になりました。会員の皆様にご協力およびご支援ありがとうございました。

今回受け付けた支援金は、被災地の作業療法士会等が行う災害支援活動を通して、今回の震災で被災された方々のために有効に使用させていただきます。



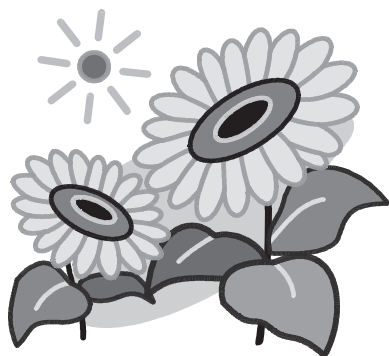
Information

〈広報部より〉

○他県士会ニュースが届いております。

北海道士会 No.93、95	愛知県士会 No.125、127	広島県士会 173～175号
秋田県士会 Vol.27、No.4、5	三重県士会 第47、52～54号	山口県士会 No.182～184
山形県士会 No.91、92	滋賀県士会 No.57	高知県士会 No.111、112
群馬県士会 第103、104号	京都府士会 No.126、127	福岡県士会 第102、103号
東京都士会 No.135～137	大阪府士会 No.145～148	宮崎県士会 VOL.56、57
神奈川県士会 No.147、148	兵庫県士会 No.152～154	香川県医師会 No.1435～1445、1448
新潟県士会 No.100	奈良県士会 Vol.74	日本介護福祉士会 Vol.101～104
石川県士会 第77、78号	島根県士会 No.23	
長野県士会 No.151、152	岡山県士会 No.85～87	

事務局連絡



- 入 会** 蓮井 知子 (真珠の湯デイサービスセンター)
 山内 康広 (坂出市立病院)
 高島 菜摘 (赤沢病院)
 白川 文香 (橋本病院)
 戸島 友里 (ふじた医院)
 宮内 理恵 (かがわ総合リハビリテーションセンター)
 上原 章子 (医療法人つばき会 牟礼病院)
 播磨 嘉美 (回生病院)
 大倉 功将 (西山脳神経外科病院)
 中坂 美保 (西山脳神経外科病院)
 伊勢谷友美 (林内科呼吸器科医院)
 松本 尚士 (有料老人ホーム ネムの木)
 詫間 隆平 (五色台病院)
 森長 晃子 (障害者支援施設 サン未来)
 岡 奈津美 (まえだ整形外科外科医院)
 沖 祐利 (介護付有料老人ホーム フラワーガーデン)
 阿部 直紀 (橋本病院)
 西岡 奈菜 (松井病院)
 水口 美紅 (松井病院)
 岩田 恵里 (松井病院)
 川原 三季 (かがわ総合リハビリテーションセンター)
- 異 動** 福寄 美里 (永生病院⇒善通寺病院)
 山下真由美 (永生病院⇒善通寺病院)
 池田 加奈 (自宅⇒かがわ総合リハビリテーションセンター)
 田島奈々子 (自宅⇒山本ヒフ泌尿器科医院)
- 退 会** 泉 真紀 (自宅)